

目標 7. 制御不能な二次災害を発生させない

7-5) 農地・森林等の荒廃による被害の拡大

(防火対策)

- 林野火災予防のために関係機関と連携して、林野火災の多い時期には特に注意喚起する必要がある。
- 林野周辺住民や登山者等への防火意識の向上を図るため、広報活動や林野防御訓練を継続して行う必要がある。
- 防火林道、防火森林の整備等にも努めるとともに、火災に関する警報発令中の火の使用制限の徹底を図り、多発時期等における監視パトロール等の強化、火入れを行う者に対する適切な対応等にも努める必要がある。

(農林水産業に係る生産基盤等の災害対応力の強化)

- 災害発生時の被害を最小化するため、基幹的農業水利施設等の長寿命化計画の策定や機能診断、治山対策等のハード対策を進めるとともに、地域コミュニティと連携した施設の保全、管理等のソフト対策を組み合わせた対策を推進する必要がある。
- 農地や農業水利施設等については、地域コミュニティの脆弱化により、地域の共同活動等による保全管理が困難となり、地域防災力・活動力の低下が懸念されるため、地域の主体性・協働力を生かした地域コミュニティ等による農地・農業水利施設等の地域資源の適切な保全管理や自立的な防災・復旧活動の体制整備を推進する必要がある。
- 森林については、適切な森林の整備や山地災害の危険性の高い箇所を優先に着手するなど総合的かつ効果的な治山対策の推進が必要である。

【重要業績指標】

⑥ 農林水産

林道路線数：26 路線【農林課】(再掲)

林道総延長：53km【農林課】(再掲)

森林総面積：7,470ha【農林課】